

#### 1409 小型絶対重力計を用いた火山監視技術の開発

担当者 新谷昌人(araya@eri.u-tokyo.ac.jp)

- ・実施機関（代表機関）名

東京大学 地震研究所

- ・研究目的

マグマ噴火を主体とする火山において、その活動を予測するためにはマグマの動きを監視する技術が不可欠である。重力観測はマグマ移動に伴う密度変化に感度をもち、GPSなど地表変位の観測と相補的に地下深部の情報を引き出すことができる。これまで絶対重力計と相対重力計を組み合わせたハイブリッド重力観測により、火山活動に伴う重力変化が観測されているが、本計画では小型絶対重力計を用いて火口の近傍で精度の高い重力観測を行い、マグマ活動を監視する技術を開発する。

現計画で開発された小型プロトタイプ絶対重力計を用いた試験観測による実用性の向上と並行して、装置のさらなる小型化と火口近傍での観測技術開発をすすめる。重力以外の観測とも組み合わせ、5年程度の期間で絶対重力による火山監視技術を開発する。